

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	認知症の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員 病院、介護福祉施設(介護職員への指導看護師)実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
認知症の基礎的知識を習得し、認知症のある人特性を理解本人、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を理解させる						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% レポート20% 態度・出席10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 13 認知症の理解(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
こころとからだのしくみと関連性があるので、からだのしくみを復習する						
《履修に当たっての留意点》						
認知症の特性、心理、行動特徴を理解し、それに応じたケアを考え、実習時応用していく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	認知症の全体像を捉える			
		各コマに おける 授業予定	認知症の基礎的理解 認知症とは何か			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脳の構造、症状の関係を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の基礎的理解 脳のしくみ～脳の変化			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	不安、喪失感を抱く理由を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の基礎的理解 認知症の人への心理			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	中核症状とは何か理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の症状・診断・治療・予防 中核症状の理解			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	生活障害の重要性を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の症状・診断・治療・予防 生活障害の理解			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	BPSDの定義、背景要因、概要を知る		
		各コマにおける授業予定	認知症の症状・診断・治療・予防 BPSDの理解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	主要な BPSD 様々な背景因子を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の症状・診断・治療・予防 BPSDの理解		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断要件、判定基準を知ることができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の診断と重症度		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因疾患により症状、経過も異なることを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患と症状・生活障害		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療薬の作用、副作用を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の治療薬		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症のリスク、対応を知る		
		各コマにおける授業予定	認知症の予防		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の背景、今後を考える		
		各コマにおける授業予定	認知症を取り巻く状況について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症ケアの理念、権利、かかわりを学ぶ		
		各コマにおける授業予定	認知症ケアの理念と視点		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の人の思いを理解し、支援内容を考えるための基本を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	認知症当事者の視点から見えるもの		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	振り返り		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	認知症の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員 病院、介護福祉施設(介護職員への指導看護師)実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
認知症の基礎的知識を習得し、認知症のある人特性を理解本人、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を理解させる						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% レポート20% 態度・出席10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 13 認知症の理解(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
こころとからだのしくみと関連性があるので、からだのしくみを復習する						
《履修に当たっての留意点》						
認知症の特性、心理、行動特徴を理解し、それに応じたケアを考え、実習時応用していく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	パーソン・センタード・ケアを理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症ケアの実際 パーソン・センタード・ケア			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	認知症の人のニーズからアセスメントを実施することを学ぶ			
		各コマに おける 授業予定	認知症の人理解、特性をふまえたアセスメント・ツール ①			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	認知症の人のニーズからアセスメントを実施することを学ぶ			
		各コマに おける 授業予定	認知症の人理解、特性をふまえたアセスメント・ツール ②			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	認知症の人とのコミュニケーションの基本的な事柄を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の人とのコミュニケーションについて			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	認知症の人の生活障害へのケアについて、理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	認知症の人へのケア ①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の人の生活障害へのケアについて、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の人へのケア ②		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	バリデーションの基本的態度の理解をすることができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の人へのさまざまなアプローチ①		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	回想法について学ぶ		
		各コマにおける授業予定	認知症の人へのさまざまなアプローチ②		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期における認知症の人の特徴を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の人の終末期医療と介護		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の人の物理的環境の役割と重要性を知る		
		各コマにおける授業予定	環境づくり		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定	介護者支援 家族の支援(レスパイトケアの方法)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護現場で安心して働き続けられる環境を整備する方法を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	介護福祉職への支援		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	新オレンジプランの位置づけられた機関やサービスを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	認知症の人の地域生活支援		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携との協働で実践する認知症ケアの実際を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	多職種連携との協働		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	振り返り 試験		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験		